

# 三重病院ニュースレター

1  
2012

N E W S L E T T E R vol.149



院長 年頭のごあいさつ	1ページ
こんなことしてます三重病院・レポート 手作り★クリスマスコンサート／医療福祉相談室だより「今月のイチオン図書」	2ページ
院長室だより「ワクチンの同時接種その後」	3ページ
新病棟の駐車場について／外来からのお知らせ／外来診察のご案内	4ページ

**皆様、明けましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。**

国立病院機構三重病院・院長 庵原 俊昭

新年を迎え、皆様は新しい目標を立てられたことと思います。振り返りますと、昨年、3月11日に東日本大震災が発生しました。しかし、その後「絆」が生まれ、復興の道を歩んでいます。当院も2組の医療チームを派遣しました。暖房や電気が乏しいなか、岩手県釜石市と山田町で活動してくれました。有り難うございます。

また、昨年の2月22日、当院の発展に貢献されました名誉院長の神谷先生が亡くなられました。神谷先生の業績は国立病院機構三重病院に留まりません。ワクチン後進国と言われた日本の予防接種制度を現在の姿に整えられました。ご冥福をお祈りするとともに、今後の当院の発展を見守って頂きたいと思えます。

さて、今年皆様にお伝えする最初の話題は、**新病棟の稼働です。**当院は平成10年の国立療養所静澄病院、国立津病院との統合で重症身体障害者病棟(山鳩病棟)が新しくなり、旧2病棟、3病棟、5病棟、6病棟も増改築しました。また、平成15年には外来管理棟が新しくなり、表玄関は近代的な病院となりましたが、一步外来管理棟から病棟への廊下を進むと、古い病棟が立ち並んでいました。**長年の職員の悲願である新病棟の稼働がいよいよ1月から始まります。**新病棟の建設は、三重県から医療施設耐震化整備事業補助を、国立病院機構本部から施設整備費補助を受けています。ご支援頂いた関係各位に御礼申し上げます。

当院は、三重県から小児救急医療拠点病院、へき地医療拠点病院、神経難病拠点病院、聴覚障害児助成事業医療機関(難聴児(者)医療・訓練)、予防接種センター、障害児相談事業実施病院、糖尿病教育入院・糖尿病教育実施病院の認定を受け、今までから地域医療に貢献してきました。**新病棟の2階には県の依頼により第2種感染症病床2床を備えました。**国の政策医療を担うのと同時に地域と連携した医療を、より強力に展開していきます。ご協力よろしく

お願いします。

当院の臨床研究部は平成14年に設置されました。以来、感染症、アレルギー、糖尿病、聞こえ(聴覚)、呼吸器疾患などの研究を行っています。**なかでも感染症やアレルギー研究の分野では厚生労働科学研究費などの競争的研究資金を毎年獲得しています。**また、国立病院機構は144ある病院の力を結集して臨床研究を行っています。当院は21ある国立病院機構(NHO)研究ネットワークグループの中の感染症分野のリーダー施設となっています。今年もパワーアップした臨床研究を展開させたいと思っています。

2年前から始めたQC活動も充実してきました。職員間のコミュニケーションをとるツールとして、医療安全を求めて、今年も飛躍を期待しています。臨床研究もQC活動も、日頃の臨床現場で生まれる疑問が出発点になっています。

教育研修の面では、教育師長の活躍もあり、昨年は国立病院総合医学会を始め多くの学会で演題を発表しました。今年も活発な研修の成果を期待しています。**また、当院は医師の養成だけでなく、看護師、介護士、理学療法士等の養成にも力を注いでいます。**臨床実習にきて良かったという声を聴くのは嬉しいものです。また、この声は職員の励みにもなります。**三重県の医療、看護、介護を支えるために、臨床実習を今年も受け入れます。**職員の皆様のサポートをお願いいたします。

三重病院ニュースレターは職員の協力で発行されています。12年前から毎月1回も休まずに発行しています。活躍する病院の姿を地域に届け続けてきました。この号で149号になります。今年も休まずに発行していきます。職員の皆様、原稿の執筆など、今年もアピールしてください。

**最後になりましたが、今年も院内の「絆」を強くし、地域との「絆」を大切に、頑張っていきたいと思えます。**

**今年もよろしく願いいたします。**